



ISO 20022勉強会

ISO/TC68国内委員会事務局

2014年7月22日

勉強会の構成



一回目 : ISO 20022がもたらす金融業務や金融サービス変革の可能性

✓ ISO 20022と金融ビジネス全体との関連性を理解する

二回目 : ISO 20022導入に伴う実務上の課題と対応

✓ 実務上理解しておくべき技術的側面を中心に議論する

三回目 : データでつながるビジネスの世界とISO 20022

✓ 情報技術の進展、オープンデータ化で変わる世界観

データ環境を巡る大きな変化



国内の動き

新日銀ネット

ほふり新システム

全銀システム(2011年～)

海外の動き

Target 2 Securities (欧州)

Target 2 (欧州)

LEI

マイナンバー・法人番号

行政のオープンデータ化

様々な
データが
容易につ
ながり、
色々なビ
ジネスに
利用され
る世界

2014

2015

2016

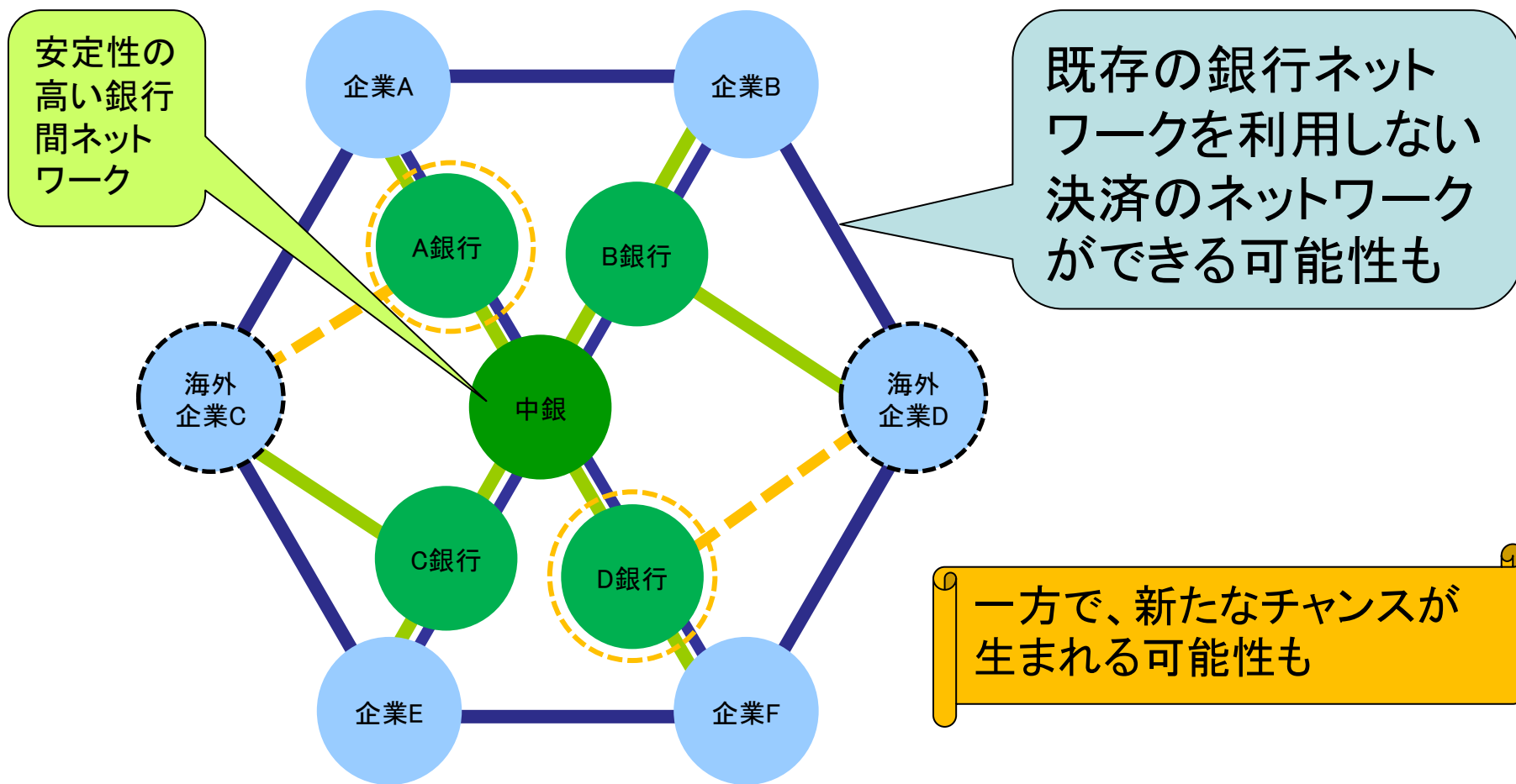
2017

2018

2019

2020～

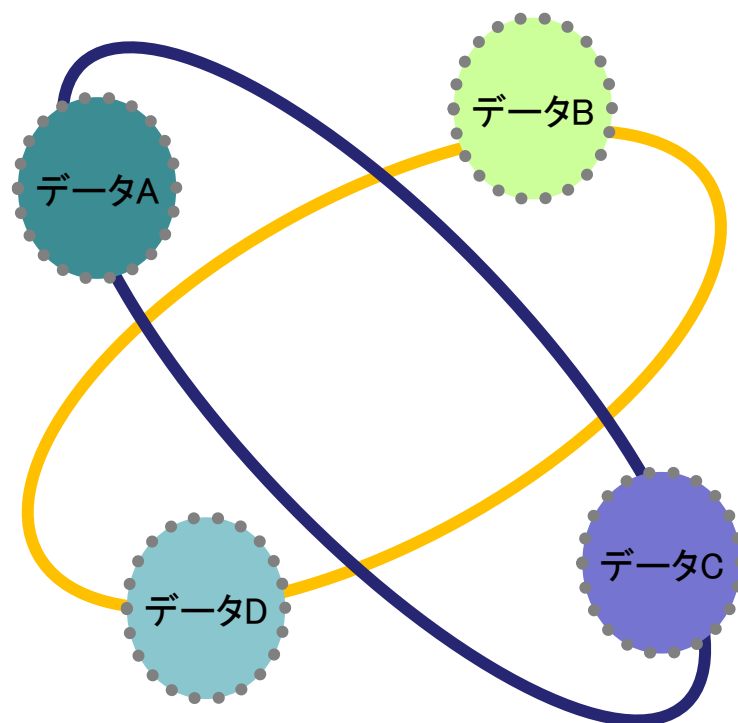
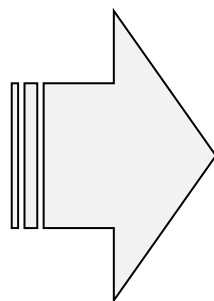
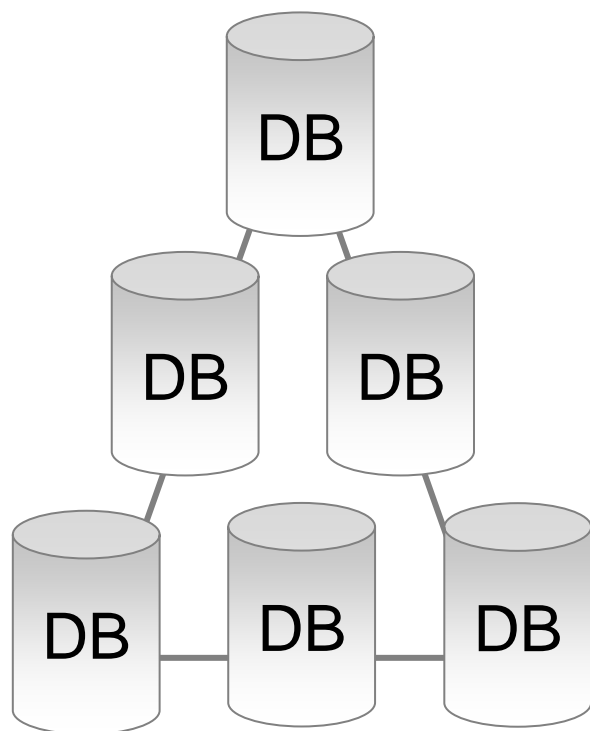
技術革新が切り開く可能性



技術革新が切り開く可能性



階層化、構造化されたデータ



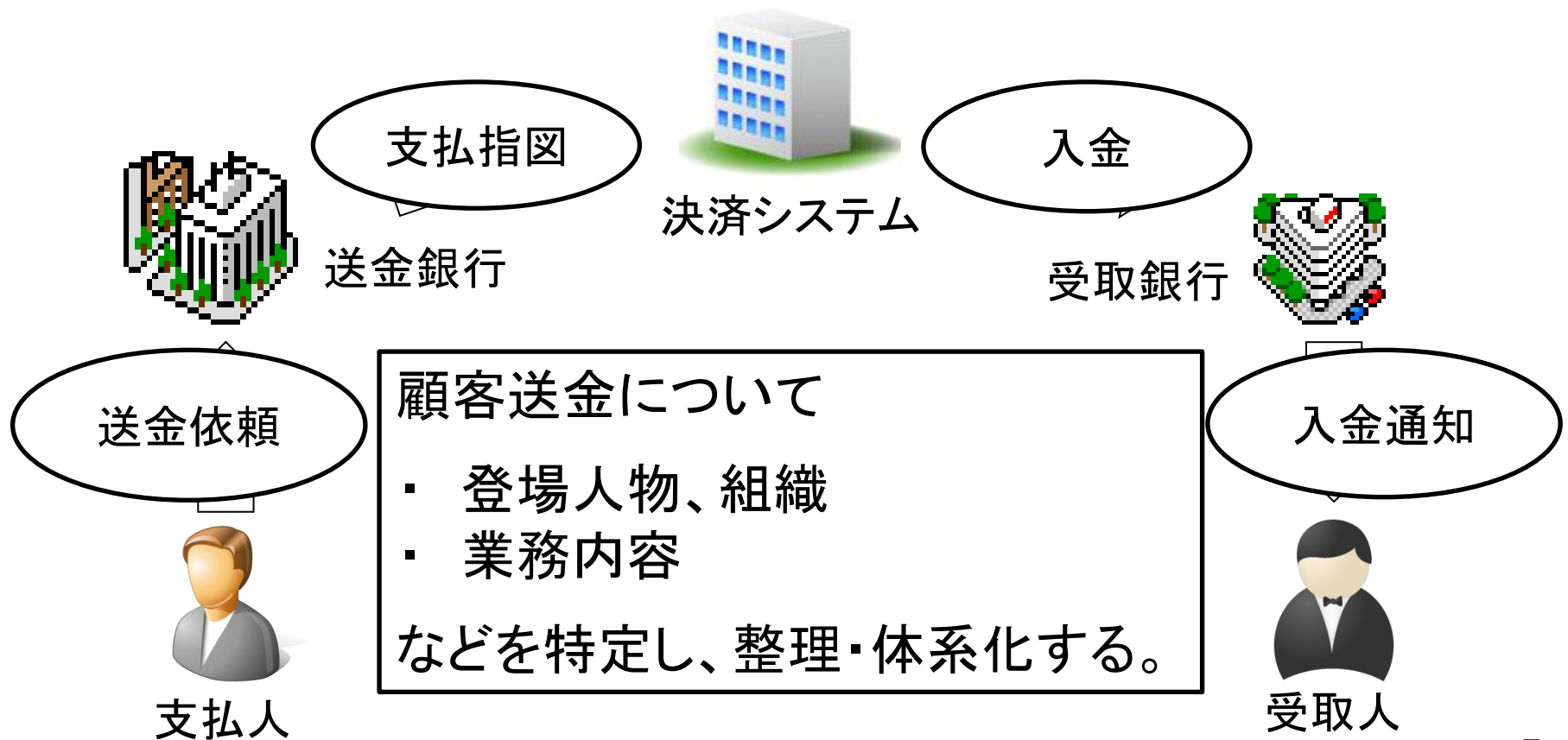
ニーズに応じたデータの結びつけ

第一回勉強会のポイント

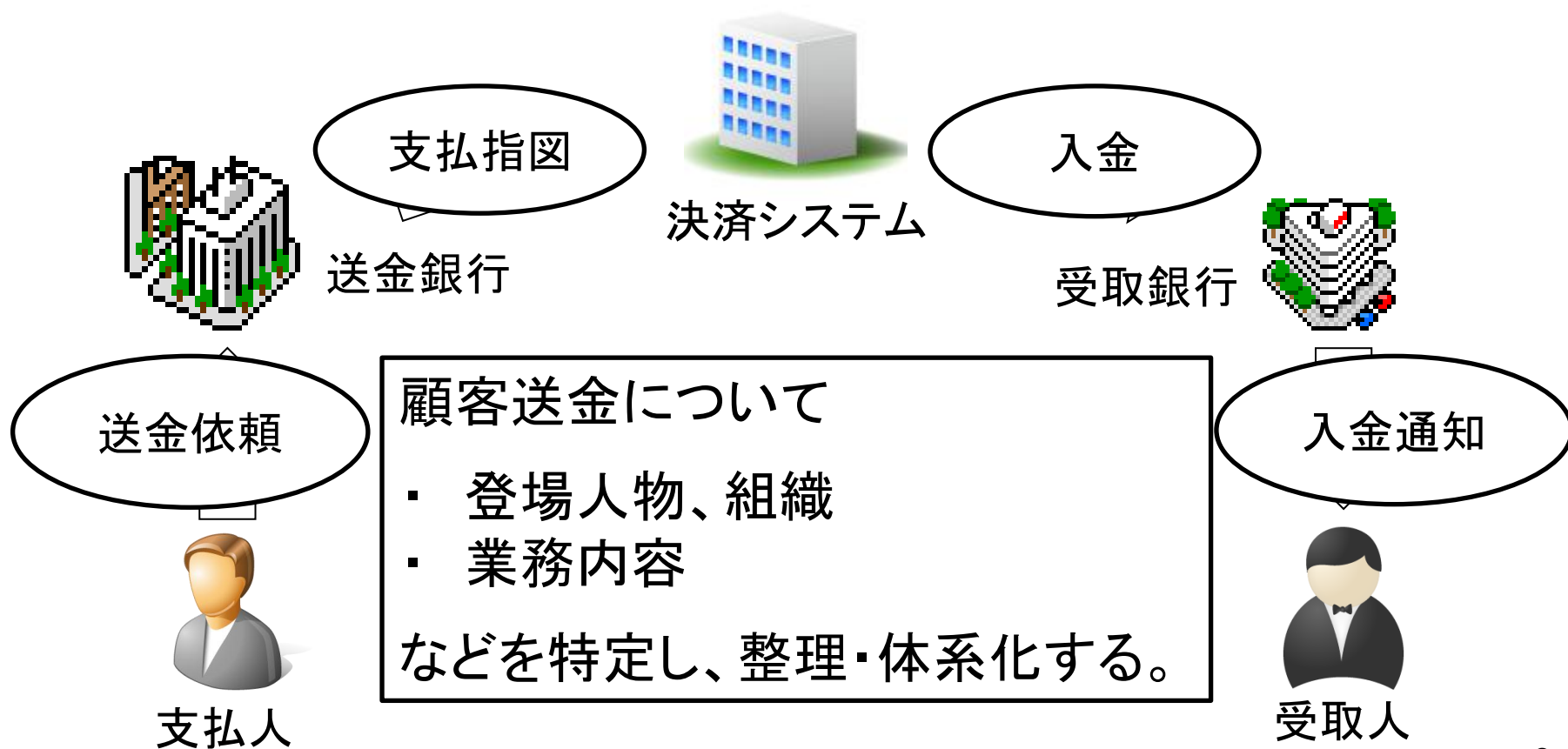
- 技術面を中心としたISO 20022の特性
 - XMLの採用
 - 金融業務分野における統合的なメッセージ規格
 - メッセージ開発の技術・方法論の標準化
 - メッセージ登録手続の標準化(第二回の主題)
 - ISO 20022を利用した業務プロセスの変革
- 金融業務変革の先行事例としてのXBRL
 - XBRLで実現された金融業務の変革
 - 業務処理のXBRL対応と効率化

モデリングとは

例えば、モノやサービスを購入した時、
「顧客送金」についてモデリングする場合を考えてみる。



顧客送金に関する業務のモデリング



XBRLを導入するメリット

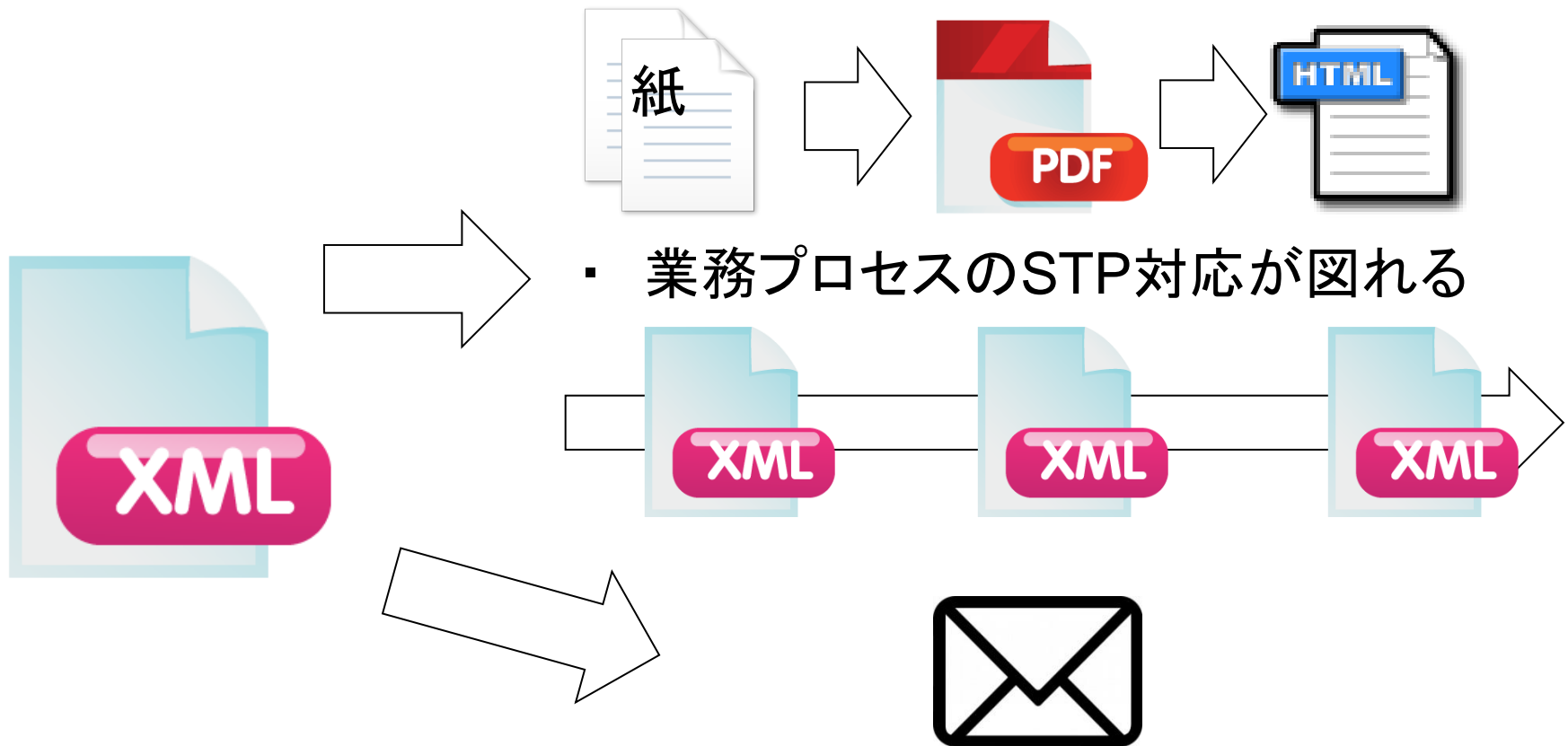
XBRLを導入していないと、様々な情報(データ)は、、、



データ形式がバラバラであり、
作成、流通、再利用がとても面倒。

XBRLを使うことで、様々なデータの関
係性が整理・体系化される

XBRLを導入するメリット



- ・ XMLのメタデータの特徴を活用し、ISO 20022等に変換も可能。

(ご参考)XMLとは

- ① タグを使用してデータを記述する言語(マークアップ言語)であり、
- ② スキーマでタグ・セットを定義することにより、特定のマークアップ言語を定義できる言語でもある(メタ言語)。

※1 タグ・・・XMLでデータを記述する際、データの内容を表すために使われる(例えば、2014年というデータをXMLで表示したい場合、スクリプト上には“<Year>2014</Year>”と<Year>というタグで囲むことになる)。

※2 スキーマ・・・XMLでデータを記述する際、データの内容や構成を定義するであり、この定義に基づきデータを記述していくことになる(データ記述の際の骨組み)。